

イベント

レポート Event report



通常開園スタート (3月15日)

穂積前市長のほか、ネーミングライツ・パートナーの秋田銀行様にもご出席いただき、開園セレモニーを行いました。セレモニー後、来園者を動物たちがお出迎えしました。



開園セレモニー



動物たちがお出迎え

飼育の日イベント (4月19日、20日)

4月19日の飼育の日になんだイベントで、今年は2日間の開催でした。飼育員の作業服を着ての記念撮影や、約30kgの乾草の運搬体験のほか、作業車両の展示や普段は見ることのできない動物園の裏側見学まで盛りだくさんのイベントでした。



作業服を着て記念撮影



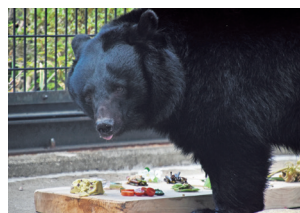
作業車両の展示

ゴールデンウィーク特別イベント (4月26日～5月6日)

毎年県内外から多くのお客さまが来園くださるゴールデンウィーク。期間中の土日祝日には日替わりで特別イベントを開催。今年はコツメカワウソのエサやり体験やツキノワグマの特別まんまタイムなどを行いました。



コツメカワウソのエサやり体験



ツキノワグマの特別まんまタイム
～ルビーちゃん和秋田の山菜パーティー～

飼料作物スダックスの共同栽培 (5月20日～7月1日)

浜田小学校と栗田支援学校の3年生24名が参加し、ゾウさん堆肥を使ったスダックスの栽培から収穫までの作業を5月から7月にかけて実施しました。

刈り取ったスダックスはゾウ舎へ運び、アフリカゾウの花子にプレゼント。生徒たちは、ゾウのフンから作った堆肥でスダックスが育ち、それをまたゾウが食べるという自然の循環を体験的に学ぶことができました。



スダックスの収穫作業



スダックスを花子にプレゼント

春の動物ふれあいフェスティバル (6月1日)

動物たちが園路を行進する「どうぶつパレード」を開催し、パレード終了後は動物たちとの記念撮影を楽しみました。9ページに記載した、東北森林管理局とのコラボイベントも開催しました。



動物パレード



動物たちとの記念撮影

第48回 親と子のふれあい写生大会 (7月12日～8月3日)

今年は、園内や自宅で制作した作品277点の提出がありました。秋田市造形教育研究会による審査で31点が入賞し、上位入賞者には8月31日の表彰式で賞状と副賞を贈呈しました。市長賞など上位3賞へ贈呈されたオモリントロフィーは、新屋ガラス工房の協力により制作されたものです。



秋田市長賞
秋田市立川尻小学校2年 棟方 里津
「ザラザラアナちゃん」



秋田市議会議長賞
秋田大学教育文化学部
附属中学校2年 野口 桜
「金色の瞳に問いかけて」



秋田市教育長賞
秋田市立土崎中学校2年 鈴木 結翔
「母の温もりに包まれて」

3園館連携事業による出前授業 (7月17日)

男鹿市立美里小学校で、男鹿水族館GAO、鶴岡市立加茂水族館とともに出前授業を実施しました。アカコンゴウインコのメレブやモルモットなどのふれあい、骨格標本解説や麻酔用吹き矢体験などを通して、動物について楽しく理解を深めてもらいました。

※3園館連携事業＝東北の日本海に面した地域にある動物展示施設が連携し、各園館の利用促進と地域活性化のためにイベント等を相互に協力して取り組むこととしています。



間近で見る動物に興味津々



動物の骨格標本解説

第51回 サマースクール (7月30日、31日)

7月30日には小学校3年生以下を対象に、31日には4年生以上を対象に行い、計37人が参加しました。参加した子どもたちは、飼育体験やクイズ、ゲームなど通して動物の体の特徴や飼育員の仕事について学びました。



ファンボルトペンギンに
エサをあげました



キリンのお部屋をキレイに掃除

夜の動物園

(8月10日～15日 ※13日を除く)

今年も、真夏の夜にライトアップされた園内で特別なイベントを行いました。特に、「スイカタイム」は大人気でした。期間を通して天候にも恵まれ、1万5千人を超えるお客さまにご来園いただきました。



カピバラのスイカタイム



ビーバーのどうぶつ解説



今後のイベント

(予定)

●11月30日(日)

「さよなら感謝祭」 ※通常開園最終日
2026年

●1月4日(日)～2月28日(土)の土日祝日
「雪の動物園」